

小学校第6学年 社会科 単元名「江戸の文化と新しい学問」

1 本単元で人権教育を進めるにあたって

本単元は、江戸幕府が政治を行った時代の文化や学問のうち、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学の二つの歴史的な事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かるようにすることをねらいとしている。

新しい学問については、杉田玄白、前野良沢らがオランダ語の医学書を翻訳して『解体新書』を著したことを調べさせ、新しい学問が起こったことを理解させる。その際、身分制度のもとで百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた人々が、優れた技術や知識をもっていたことについて理解させる。こうした人々の活躍が、蘭学への関心を高めたり、江戸時代の社会の発展を支えたりしたことにつながったことを理解させる。

このような人権の発展・人権侵害等に関する歴史に関する知識を身に付けさせる学習を通して、先人の働きについての理解と関心を深めさせたい。さらには、今日の我が国の繁栄が、過去に生きた人々の努力や苦勞を礎として成り立っていることに気づき、先人への感謝の気持ちをもつとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てることができる学習にしたい。

2 単元の目標

歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、社会が安定するにつれて町人の文化が栄え、新しい学問が起こったこと、それらが新しい時代への動きに影響を与えたことがわかるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考えようとする。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

身分制度のもとで百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた人々が、新しい学問の担い手であることや、不合理な差別政策に対して団結して立ち上がったことを理解し、人権の発展・人権侵害等に関する歴史についての知識を身に付ける。(知識的側面)

4 指導のポイント

(1) 知的理解を図る上で大切にしたいポイント

- 児童による話し合いの場を設け、差別されてきた人々が、蘭学への関心を高めたり、江戸時代の社会の発展を支えたりしたことを考え、理解できるようにする。
- 導入で、絵図やグラフ等の資料を用い、児童の歴史的な事象への興味や関心を高めるようにする。また、既習事項を確認するなどして、人物の名前や歴史的な背景等を十分に理解できるようにする。
- 学級活動との関連を図り、自分自身の差別性や身の回りの差別についても目を向けることができるようにする。また、これから自分でできることやクラスでできることなどを考えさせ、実践化につなげられるようにする。
- 人権教育主任と連携を図り、自分たちが学習したこと、学習を通して考えたことを、「校内人権集会」や「学習発表会」等の場で発表するなどして、人権を大切にしようとする意識を高めることができるようにする。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

- ① 自己存在感
提示した資料から気付きを出す場を設定したり、自分の考えを表現する場を工夫したりして、一人一人が活躍できるようにする。
- ② 共感的人間関係
友達との話合いや意見交換を通して、友達の考えや思いを尊重して聴いたり、自分の考えを表現したりして、主体的・協力的に問題解決に取り組ませる。
- ③ 自己選択・決定
複数の学習課題（人物）や表現方法を提示したり、2人組やグループ、学級全体などの学習形態を工夫したりして、選択の幅を与えるようにする。

5 学習の流れ

(1) 指導計画（6時間取り扱い）

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 江戸のまちと人々の暮らし 江戸のまちの様子や人々の暮らしを描いた絵図から、気付きを出し合い、学習課題を設定する。	○各絵図を丁寧に読み取らせ、当時の風俗や街並み、人々の生活に注目させる。
学習課題 このころの社会はどんな様子で、新しい文化や学問をつくりあげた人々は、どんな活やくをしたのか、調べたり考えたりしよう。	
2 新しい文化・歌舞伎や浮世絵 ○歌舞伎の広まりについて調べる。 ○浮世絵の広まりについて調べる。	○昔も今も、人々は歌舞伎を楽しんでいることや花見や花火などの年中行事も今に引き継がれていることに注目させる。 ○浮世絵の広がりなどによる町人文化の発展は、教育の普及にも役立ったことに気付かせる。
3 新しい学問・蘭学とそれを支えた人々 解剖に携わった人たちの業績や思いについて調べる。また、新しい学問がおこった様子や社会に与えた影響について調べる。（本時）	○新しい学問が日本の社会や政治に役立てようとする人々が増えたことも気付かせる。また、実際に解剖をした人の優れた解剖技術が現在の医療技術の進歩・発展にまでつながっていることに気付かせる。
4 新しい時代への動き 国学が広まったことや、百姓一揆や打ちこわしが各地で起こったことを調べる。	○百姓一揆や打ちこわしが増えたことで、幕府や藩に解決する力がなくなってきたことに気付かせ、新しい学問によって政治の現状を批判する人たちが現れたことなどを捉えさせる。
5 学習のまとめ 単元の学習を振り返り、学習をまとめる。	○自作の評価問題を作成し、単元の学習を振り返ることができるようにする。

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (5 / 6時間目)

目標

◇杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して『解体新書』を著したことを理解するとともに、こうした人々の活躍が、蘭学への関心を高めたり、江戸時代の社会の発展を支えたりしたことにつなげたことについて考え、表現することができる。

人権教育で育てたい資質・能力

◆身分制度のもとで百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた人々が、優れた技術や知識をもち、新しい学問の担い手であることを理解する。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
<p>1 前時までの学習を振り返るとともに、資料①について気付きを出し、学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>江戸時代に、どのようにして医学が発展して、誰がその発展に関係したのか、調べたり考えたりしよう。</p> </div>	<p>○自由に意見を出させた後に、この絵図が人体解剖図であることを知らせる。</p>	<p>資料① 学習シート</p>
<p>2 資料②に出ている人たちが何をしているのか教科書や資料を使って調べ、調べて分かったことを発表する。</p>	<p>○「解剖している人」「解剖の様子と本を見比べている人」に注目させて調べさせる。 ○板書をもとにしながら、絵図に出てくる人物について整理させる。</p>	<p>資料②</p>
<p>3 調べて分かったことをもとに、オランダ語の医学書と解剖の様子について話し合い、考えを深める。</p> <p>(1) 杉田玄白と前野良沢が驚いた2つのことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学書の正確さ ・解剖にあたった人の知識と技術 <p>(2) 各自の考えをもとにグループ内で話し合う。</p> <p>(3) 実際に解剖をして説明をした人が身分制度のもとで百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた人であることや、人には真似できない解剖技術を、長年の経験から習得したことを知る。</p>	<p>○吹き出しを入れた学習シートを使い、2人の驚きを具体的に考え、グループで意見を交流させる。 ○児童たち一人一人の考えを認め、お互いの考えのよさにも気付かせるようにする。 ○蘭学事始を紹介したり、理科の「人や動物のからだ」の学習等と関連させたりして、正しい知識や解剖技術を経験から習得してきたすばらしさを伝える。 ○児童からの疑問を取り上げて説明したり、発展的な学習として他教科と関連させたりする。</p>	<p>資料③</p> <p>蘭学事始の一節 人の体の図鑑等</p>

<p>4 医学の発展に関係した人々に手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉田玄白 前野良沢 ・実際に解剖をして内臓の説明をした人 	<p>○杉田玄白、前野良沢や解剖をして内臓の説明をした人たちについて具体的にイメージできるようにして、手紙を書かせる。</p> <p>◇杉田玄白や実際に解剖をして内臓の説明をした人たちの活躍により、蘭学の関心が高まったことや、優れた解剖技術が長年の経験と訓練から身に付けたことについて考え、表現している。</p> <p>◆身分制度のもとで百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた人々が、優れた技術や知識をもち、医学を支えていたことを理解している。</p> <p>○手紙を読み、不十分な理解や誤った捉え方をしている場合は、個別に指導したり、事後指導を充実させたりする。</p>	<p>手紙シート</p>
<p>5 本時の学習をまとめ、次時以降の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○こうした人々の活躍により、蘭学への関心が高まり、世界に目を向ける人々や新しい知識や技術を日本に役立てようとする人々が現れたこともおさえる。</p>	

6 資料

- 資料①：当時使われていた中国の医学書の解剖図とオランダ語の医学書の解剖図
【参照】東京書籍 p.94、教育出版 p.80、日本文教出版→掲載無し
- 資料②：解剖の様子（想像図）
【参照】東京書籍 p.94、教育出版 p.80、日本文教出版 p.88
- 蘭学事始（くすのき【高校版】）

【資料②】解剖の様子（想像図）



【資料③】社会『江戸の文化と新しい学問』学習シート
()月 ()日
6の() 名前()



1 資料①の2枚の絵を見比べて、気付いたことを見つけましょう！

当時使われていた中国の医学書の解剖図	オランダ語の医学書の解剖図
--------------------	---------------

◇◇ 今日の学習のめあて ◇◇

--

2 資料②を見て、この人たちが何をしているのか、調べたり考えたりしましょう。

資料②	
-----	--

3 杉田玄白と前野良沢がおどろいたこととは、どんなことでしょうか？

自分の考えは…
友達のよかったところは

☆ 今日の学習のまとめとして、医学の発展に関係した人たちに、手紙を書いてみましょう。
(今日の学習で分かったことや感じたこと、考えたことなどを手紙にしてみよう!)

医学の発展に関係した人たちへ

() 小学校 6 年 () より

【参考】小学校社会科における同和問題にかかわる学習（第6学年）

- 学習のねらい
- 社会の発展を支えながらも差別されていた人々の置かれていた具体的な事実や果たした業績等を資料を活用して調べ、今日の我が国の繁栄が、過去に生きた人々の努力や苦勞を礎として成り立っていることを考える。
 - 差別をなくし人権を守り発展させてきた先人の生き方について、理解と関心を深める。

【小単元名】

【学習内容及びそのねらい】

